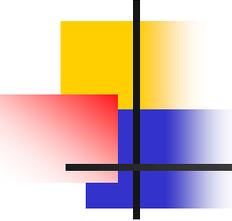


防災行政無線等の戸別受信機の普及促進に関する研究会

綾瀬市防災行政用無線の概要と導入



平成29年4月18日(火) 綾瀬市市長室危機管理課、発表者:市長室長 内藤勝則



目次

①綾瀬市の概要

②防災行政用無線のデジタル化について

③まとめ



①綾瀬市の概要

人 □ (平成29年3月1日)

人口総数 84,309人

世帯数 33,805世帯

平均年齢 44.9歳

面積 22.14km²
市街化区域 10.28 km²
市街化調整区域 11.86 km²
(内厚木基地 3.95 km²)

行 政 (平成29年3月1日)

市議会議員 20人

職 員 602人

教 育

小 学 校 10校

中 学 校 5校

高 等 学 校 2校



②防災行政用無線のデジタル化について

昭和62年 防災行政用無線（アナログ）を導入

平成9～12年 一度目の更新（アナログ）

平成26～28年 二度目の更新（デジタル化へ）



②防災行政用無線のデジタル化について

【平成9年度の更新】

親局、操作卓、子局（26局）、
戸別受信機（18,017台）を整備



老朽化に伴い、**デジタル化**を検討



②防災行政用無線のデジタル化について

【デジタル化の概要】

平成24年 基本設計

平成25年 実施設計

平成26年 施工（親局等工事）

⇒平成26～28年 戸別受信機整備



②防災行政用無線のデジタル化について

【反省点】

前回の整備（H9）では、**親局のみ**入札



子局や戸別受信機は落札者からしか購入できず、**高価**（約3.5万円）になってしまった。



②防災行政用無線のデジタル化について

前回の反省を踏まえ. . .

親局だけでなく、子局、再送信子局、戸別受信機本体、戸別受信機や空中線の取り付け、アナログ戸別受信機の撤去、保守点検業務をまとめてプロポーザルを実施、その後、一社随意契約とした。



②防災行政用無線のデジタル化について

【主な仕様】

- 親局 1局
- 操作卓 2局
- 子局 33局
- 再送信子局 2局
- 戸別受信機 21,000台（当初）
- 空中線設置 6,300本（見込） 等



②防災行政用無線のデジタル化について

【考慮した点】

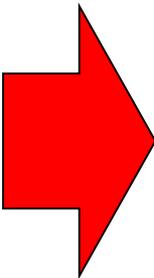
- 仕様書は全ての会社の機器に適用できるように作成
⇒具体的には、移行期間内は操作卓を2台でも可能にした。
- 平成27～28年度の戸別受信機購入価格は、プロポーザル時の金額と同様にすることを明記。



②防災行政用無線のデジタル化について

【プロポーザル】

6社が参加意向、その内4社が実際に参加



	H26～28総合計額※ [円]	市設計額との比 [%]
市設計額	1,630,929,600	-
A社	1,473,281,627	90
B社	894,918,996	55
C社	837,784,078	51
D社	1,503,882,978	92

※戸別受信機・空中線の取り付け、アナログ機撤去費等も含む

設計金額と比べ**51%**に



②防災行政用無線のデジタル化について

【主な内訳】

	工事費[円]	戸別受信機単価※[円]
市設計額	232,146,000	54,860
A社	186,516,000	49,700
B社	118,800,000	28,500
C社	160,380,000	24,400
D社	117,858,715	54,899

※戸別受信機・空中線の取り付け、アナログ機撤去費は除く

工事費は3位であるが、戸別は1位の会社が最優秀者



③まとめ

戸別受信機の数量が多い＝戸別受信機が安価な会社が総額も安価に



やり方次第では性能を落とさずに、安価で導入可能

	H26～28総合計額 ※[円]	市設計額との比 [%]
市設計額	1,630,929,600	-
A社	1,473,281,627	90
B社	894,918,996	55
C社	837,784,078	51
D社	1,503,882,978	92

※戸別受信機・空中線の取り付け、アナログ機撤去費等も含む